

SHOW HIVE シネマールーム

★★★

スウィング・キッズ

2018年 / 韓国映画

配給：クロックワークス / 133分

2020 (令和2) 年 2月 29日鑑賞

シネ・リーブル梅田

Data

監督：カン・ヒョン Chol

出演：D. O. / ジャレッド・グラ
イムス / パク・ヘス / オ・ジ
ヨンセ / キム・ミンホ

■ショートコメント■

◆本作のチラシには、「1951年、巨済捕虜収容所。最も苦しい時代、最も不釣り合いな人たちが出会い、最も胸がときめくダンスで生き抜こうとした——。」の見出しが躍り、次のとおり紹介されている。

主演はアジア各国で絶大な人気を誇るK-POPグループ<EXO>でメインボーカルを務め、『神と共に』シリーズをはじめ演技派俳優としても大活躍を遂げるD.O.。その身体能力を生かし、タップダンスから北朝鮮の方言まで、約5ヶ月間に及ぶ猛特訓をこなし、ダンスに魅了された朝鮮人民軍ロ・ギス役を見事熱演。ここに世界最高峰のタップダンサーであり俳優のジャレッド・グライムスの出演が実現し、捕虜で構成されたダンス集団のリーダーとなる米軍のジャクソン役を演じる。韓国で社会現象を巻き起こす大ヒットを記録した『サニー 永遠の仲間たち』のカン・ヒョン Chol 監督による、タップダンスと音楽を絶妙に融合させた感覚的な演出、才能とエネルギー溢れる若手俳優たちのシナジー、更にはジャズの名曲にのせた爆発的なパフォーマンスで本国では公開わずか9日で観客動員100万人を記録、「朝鮮戦争」という最も悲しい歴史と、「ダンス」という最も胸がときめく題材の異質な組み合わせにより、社会思想の対立、戦争による傷、人種差別などのすべてをダンスを通じて乗り越え、1つになっていく人々のストーリーを感動的に描く話題作が遂に上陸する。

◆また、チラシによれば、本作のストーリーは次のとおりだ。

1951年、朝鮮戦争当時、最大規模の巨済捕虜収容所、新しく赴任した所長は収容所の対外的なイメージメイキングのために、戦争捕虜たちによるダンスチーム結成プロジェクトを計画する。収容所で一番のトラブルメーカー ロ・ギス、4か国語も話せる無認可の通訳士 ヤン・パンネ、生き別れた妻を捜すために有名になることを望み、愛に生きる男 カン・ビョンサム、見た目からは想像できないダンスの実力を持った栄養失調の踊り手 シャオパン、そして彼らのリーダーであり元ブロードウェイのタップダンサー ジャクソンまで、紆余曲折の末、一堂に会した彼らの名前はスウィング・キッズ！それぞれ異なる事情を抱えてダンスを踊ることになり、デビュー公演が目前に迫っていた。国籍、言葉、イデオロギー、ダンスの実力、全てがちぐはぐな寄せ集めダンスチームは前途多難でしかないが……。

◆さらに、チラシには「朝鮮戦争版『ライフ・イズ・ビューティフル』！」の文字が躍っ

ているうえ、本作の舞台が巨済捕虜収容所と聞けば、こりゃ必見！そう思ったが、冒頭での時代状況の説明、巨済捕虜収容所の風景が映し出されると、その混乱ぶりにビックリ！人物像もわからなければ、ストーリーもサッパリ・・・。

◆そもそも、なぜ巨済捕虜収容所内でタップダンス？それは、新任してきた収容所長の思いつきによるものだが、なかなかチームの結成までいかないから、私はイライラ。その裏には、朝鮮民主主義人民共和国の捕虜たちによる所長暗殺計画があったが、そんなシリアスなストーリーと、タップダンスのエンタメ性との融合の成否は？

◆クライマックスでの5人組のスウィング・ギズによるタップダンスの出来はさすが。それはそれで立派なクライマックスだが、それで終わらせたのではダメ。そのため、本作はその後一転してシリアスな暗殺計画実行！となるわけだが、その成否は？

◆これでは私の採点は残念ながら星3つ。したがって、本作はショートコメントでお茶を濁すことに。

2020（令和2）年3月5日記